

## 【投稿】稚拙な為政者の排除が改憲への早道

会員 田中毅

4月26日に初めて月例研究会に参加しました。熱っぽく議論されていた憲法9条改正について一言。9条に関しては、Should we change? (改正すべきか) Can we change? (改正できるのか) Can we afford? (改正してやっていけるのか) に答える必要があります。国の戦略上からも、既に自衛隊の名で軍事力を保持していることから、初めの二つに対する答えは「イエス」でしょう。

問題は三番目です。新たに手にする軍事パワーを我が国のみならず周辺諸国の平和のためにも的確かつしたたかにコントロールできる管理能力を携え、しっかりとしたビジョンに裏打ちされた信頼と尊敬に足る国政の枠組みと人材が欠けている今は、Affordable ではない(改憲は危険)と国民は見るでしょう。改憲への行程のチェックポイントとして、国政レベルの管理能力の改善を厳しく評価し公表することが、改憲へのコンセンサス作りの早道だと思います、そのことによって、議員定数削減などの具体策が有機的につながってくると考えます。

改憲を妨げる真の原因は国民の意識の低さよりも、稚拙な為政者の長年の存在と考えたほうがメスを入れやすく、成果も早く手にできるのではないのでしょうか。国基研の更なる奮闘を期待します